

～会長便り～

新年あけましておめでとうございます。今年もよろしくお願ひします。

いよいよ2025年になりました。皆さん、「2025年問題」覚えていますか。超高齢化を迎え、社会保障費の急増などが見込まれる社会問題のことです。団塊の世代の方々が75歳を迎え、人口全体の18%を占めると予想されたその年になったのです。方や「薬剤師偏在問題」という言葉も昨年からよく耳にします。「薬剤師労働時間」を「薬剤師の推計業務量」で割った値が「薬剤師の偏在指標」と言われており、現在の長崎県は0.87で実質、薬剤師が足りていない状況です。1.0を超える都道府県は7都道府県しかありません。しかし、2036年になりますと長崎県は1.05となり、薬剤師は十分足りている計算になるのです。ちなみに全国でも36都道府県が1.0を超える予想です。何が言いたいかという2025年を迎えるにあたり、しばらくは市場もあり薬剤師も少ない長崎県では働く場所もお給料もある程度見込める状況ではありますが、2036年には団塊の世代の方々も86歳を迎え多分市場は小さくなるのに、薬剤師は溢れる状況になるという事です。皆さんはこの将来の状況をどの様に捉えますか、将来を見据える新年の始まりです。

～学生実習対策委員会便り～

平素より、実務実習・早期体験学習活動へのご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。

さて、11月10日に行われました第5回長崎県薬剤師学術大会は皆さんご参加されましたでしょうか？今回のテーマは「師たれ、薬剤師～導き、教え、継ぐ」でした。薬剤師の「師」の意味するものは人を教え導く人、学問、技芸を享受する人という意味です。その対象は地域住民であったり、患者さんであったり後輩であったり・・・私たちは医薬品の適正使用や情報提供をするために常に自己研鑽を積み、地域医療に貢献する事は重要でありその姿を後輩に伝えていくこともまた重要な責任であると思います。今年2月17日より第一期の実務実習が始まります。学生を指導する立場である指導薬剤師も常に成長しなければなりません。次の指導薬剤師へつないでいくことも必要です。学生が充実した実習を行う場をしっかりと整えるために認定実務実習指導薬剤師と連携を取りながら薬局内のスタッフ全体で導いていただきたいと思います。また指導薬剤師の連携も必要であると思います。普段の業務でなかなか学生の指導には余裕がない、8疾患に関する症例を実習できる体制が整っていないという薬局でも指導薬剤師間でお互いに支えることでより充実した実習の場を提供できるのではないのでしょうか。指導薬剤師間で協力し合って次世代の薬剤師を導いていきましょう。今年もよろしくお願ひいたします。

～令和6年“薬剤師届出票”提出のお願い～

佐世保市保健所より送付されております標記書類の提出期限が令和7年1月15日(水)迄となっております。提出先は、保健福祉政策課・医事薬事係です。

～佐世保市国民健康保険 慢性腎臓病 (CKD) 市民公開講座のお知らせ～

テーマ:知ろう、学ぼう、CKD(慢性腎臓病)～聞いて得する腎臓のはなし～

日時:令和7年2月9日(日) 13:30～

会場:アルカス SASEBO 中ホール

講演 2:「腎臓を守るためのお薬の話」

～薬剤師にも腎機能の検査値をお伝えください～

佐世保市薬剤師会 副会長 中村 三喜雄 先生 他 2講演

申込方法:右記QRコードから(定員500名に達し次第終了)



～令和6年度 市民啓発公開講座のご案内～

(西九州させぼ全域都市圏 在宅医療・介護連携推進事業)

テーマ:ACP(人生会議)と“もしバナゲーム”

日時:令和7年2月2日(日) 14:00～

会場:①アルカス SASEBO 中ホール (500人)

②サテライト会場 (6か所 会場毎に30名～50名)

講師:蔵本 浩一先生 亀田総合病院

疼痛・緩和ケア科 部長代理 地域医療連携室 室長
参加費無料、事前の参加申し込みが必要です

申込方法:①の会場は右記QRコードから可能

②の会場はFAXまたは電話申込となっておりますので詳しくは市薬事務局へご連絡ください。



佐世保市薬剤師会 会務報告【12月】

7日	佐世保市学校保健研究大会・懇親会(井手 他)	コミュニティーセンター、JAホール
10日	長崎薬学コンソーシアム会議・懇親会(作元、井手) 生涯教育	長崎国際大学、ローレライ ハイブリッド研修会
11日	三役会	市薬会議室
17日	生涯教育 佐世保市給食検討委員会(古田)	ハイブリッド研修会 中央保健福祉センター
18日	常務会	市薬会議室
19日	佐世保市健康寿命延伸推進協議会(井手) 九文薬理学非常勤講師打ち合わせ(東島 他)	佐世保市保健所 市薬会議室